

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	広報あつま発行事業	担当課	担当グループ	作成者(職・氏名)
		2 まちづくり推進課	21 企画調整グループ	主査 近藤 奈々子

実施計画年度(期間)
R 3 年度 (R3 ~ R5)

事業評価対象年度
R 2 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体	1 町		会計区分	1 一般		予算科目				
	事業終了年度	令和 7 年度		02	01		03	0309	001	性質別経費			
事業の性質	法令に基づかない自主的事业								条例等の有無	有			
根拠法令・例規計画等	厚真町広報「あつま」発行規則												
総合計画	基本目標	5	みんなで支えるあつま										
	基本施策	19	住民自治の推進										
	施策項目	192	広報・広聴の充実										
	復旧・復興計画	32	災害に強いまちづくり・地域防災体制の強化										
	総合戦略	23	(まち)多様な人々が住み続けられる環境整備										
政策展開方針 (R2~R6)	厚真町強靱化計画	1713	防災情報の共有										
	大項目	9	その他										
	中項目	9	その他										
施策項目	9999	その他											

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	町の行政についての諸般の事項を一般町民に周知させるため広報「あつま」を発行し、町民と行政間の情報の共有を図り、住民自治を推進する。
事業の内容 (手段・方法等)	①月1回の広報紙の発行(年12回)、広報紙別冊「執行方針と予算」の発行(年1回) ②広報事項の記録、資料収集・保存
対 象	町民・関係人口
成果目標	町民が知りたい情報をわかりやすく伝える広報紙を発行する。

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	H28 (前期1)	H29 (前期2)	H30 (前期3)	R1 (前期4)	R2 (前期5)	R3 (後期1)	R4 (後期2)	R5 (後期3)	R6 (後期4)	R7 (後期5)
	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画
事業費	6,281	6,954	6,226	7,197	12,112	14,940				
特定財源	国支出金									
	道支出金									
	町債									
	その他									
一般財源	6,281	6,954	6,226	7,197	12,112	14,940				
人件費 (@4,000/時間数)	5,520	5,520	5,520	5,520	345	345				
積算根拠					給料3,840 職員手当等1,236 共済費768 需用費4,007 委託料2,002 使用料及び賃借料150	給料3,840 職員手当等1,497 共済費1,100 需用費4,601 委託料2,376 使用料及び賃借料153 負担金補助及び交付金1,373				
主な年次計画 (取組)					ソフトウェア契約 臨時職員雇用	広報紙電子書籍化				
ヒアリング 指示事項 ※企画調整G記入欄										

② 実績・成果

指標名称 (前期)		H28 (前期1)		H29 (前期2)		H30 (前期3)		R1 (前期4)		R2 (前期5)		R3 (後期1)		R4 (後期2)		R5 (後期3)		R6 (後期4)		R7 (後期5)	
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	配布戸数	1976	戸	1985	戸	1767	戸	1983	戸	1985	戸	1896	戸								
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																				
	広報紙の発行 (年12回)、各種行事等の記録	1976	戸	1985	戸	1767	戸	1983	戸	1985	戸										
	達成度	100	%	100	%	100	%	100	%	100	%		%		%		%		%		%
主な成果指標	広報紙に対する満足度											80	%	80	%	80	%	80	%	80	%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																				
	行政情報等の共有化・行政への関心の高まり																				

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	町の施策や行事など、町民生活に必要な情報を広く周知するものである。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	町民にきめ細かく町政情報を伝達する手段として有効である。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	町からのお知らせを広報紙に集約することで、各部署の業務の省力化やコスト削減に努めている。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持
理由	インターネットやスマートフォンが普及し電子書籍が普及している一方で、高齢者世帯などご自宅にインターネット環境がない町民も多く、町政情報を伝達する手段として有効である。				
課題および改善提案	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標について、定期的に広報紙に対する満足度やニーズの確認を行う必要があり、ウェブを使ったアンケートの実施を検討する。 各部署において、必要最低限の情報のみを掲載する傾向があり、いわゆる「お知らせ広報」となっている。町の重要施策について、積極的にお知らせし、町政への関心を高める必要がある。 インターネットやスマートフォンの普及により、ウェブサイトとの連携・情報発信の方法を検討する必要がある。 現在紙面は2色刷りで発行しているが、図解などが分かりづらいことなどから、紙面のフルカラー化を提案する。用紙を現在より薄手の物とすることで、費用が増大しないよう配慮する。 				

※予算・サービスは「継続 (拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (現状維持)	方向性	現状維持	意見
						町民に行政情報を確実に伝え、町民と行政の協働のまちづくりに資することから、現状維持による事業継続が妥当である。ただし、電子媒体による広報を強化する等、デジタル化推進や紙資源削減に資する方策を検討することが望ましい。

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 3 年 10 月 29 日	予算	継続 (現状維持)	サービス	継続 (拡大)	方向性	現状維持
付帯意見 (全体意見)	<p>○住民の知りたい情報等のニーズを把握・反映させ、広報内容の充実を図ること。</p> <p>▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。</p>						
その他意見 (個別意見)	<p>○広報紙発行事業としては、事業費が大きいという印象があるため、民間事業者への委託等、業務の合理化についても検討願いたい。</p> <p>○町の改善提案であるアンケート等は、簡便かつ安価な手法により実施することが望ましい。</p> <p>○防災無線の内容について、放送用語に修正したうえで放送することが望ましい。</p>						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 4 年 3 月 31 日
付帯意見に対する回答	<p>○町民の知りたい情報のニーズや広報紙に対する意見をアンケート等により把握し反映できるよう努めます。また、町が取り組む重要施策や新たなプロジェクト等の情報についても積極的に発信し、町民の皆さまに興味を持っていただき、町民と行政の協働のまちづくりが推進されるよう努めます。</p>
その他意見に対する回答	<p>○業務については、平成27年に編集作業等 (レイアウト等) を外注するなど、合理化を図ってまいりましたが、情報の「質」「量」「わかりやすさ」など充実を図りながら、引き続き、コスト削減等、業務の合理化に努めます。</p> <p>○広報紙に対するアンケートはコストや時間をかけずに効果的、効率的な手法で行えるよう検討します。</p> <p>○防災無線については、住民に対して情報的確実に伝わるよう、簡潔かつ明瞭な表現に努めます。</p>